



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年7月28日

東・名

上場会社名 大同特殊鋼株式会社

上場取引所

コード番号 5471

URL <http://www.daido.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 嶋尾 正

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長

(氏名) 東 真一郎

(TEL) 052-963-7501

四半期報告書提出予定日 平成27年8月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	116,705	△2.6	3,967	△5.0	4,240	△7.3	1,788	△30.8
27年3月期第1四半期	119,819	9.1	4,177	△17.5	4,572	△19.5	2,582	△30.8

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 5,694百万円(20.8%) 27年3月期第1四半期 4,714百万円(△45.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	4.12	—
27年3月期第1四半期	5.95	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	589,602	297,310	44.1
27年3月期	588,590	292,405	43.5

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 259,795百万円 27年3月期 256,021百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	3.00	—	3.50	6.50
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	242,000	1.3	11,000	27.0	12,000	24.1	7,500	82.2	17.29
通期	500,000	3.4	27,000	32.3	29,000	33.5	19,000	74.5	43.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	28年3月期1Q	434,487,693株	27年3月期	434,487,693株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	811,391株	27年3月期	805,395株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	28年3月期1Q	433,679,263株	27年3月期1Q	433,703,100株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は【添付資料】P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書 .....	7
四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9
4. 補足説明資料 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の回復を背景とした設備投資や円安による輸出などが底堅く推移しましたが、鉄工業生産など一部に弱さも見られました。海外経済は、先進国では米国が個人消費を中心に堅調に推移しました。欧州はギリシャ債務問題による不安定さはあったものの、欧州中央銀行による量的緩和により緩やかな景気回復が期待されています。一方、新興国では、中国経済が緩やかに減速しつつあるほか、原油安により資源国の減速が強まっています。そのような経済環境の中、特殊鋼の主要需要先である自動車に关しましては、在庫調整のため一部で生産調整の動きが見られました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の連結経営成績は、数量の減少等により、売上高は前年同期比31億13百万円減収の1,167億5百万円、経常利益は前年同期比3億32百万円減益の42億40百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、投資有価証券評価損を計上したこともあり、前年同期比7億94百万円減益の17億88百万円となりました。

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

#### ①特殊鋼鋼材

構造用鋼の数量は、自動車で在庫調整のための生産調整の動きが見られたこと等から、前年同期比で減少しました。工具鋼の数量は輸出が堅調に推移したことから、前年同期比で増加しました。主要原材料である鉄スクラップ価格は、鉄鉱石価格の下落や韓国需要の減少等を受け、前年同期比で低下しました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の特殊鋼鋼材の売上高は、前年同期比11.6%減少の433億5百万円、営業利益は前年同期比1億38百万円減益の3億17百万円となりました。

#### ②機能材料・磁性材料

ステンレス製品は、パソコン販売低迷によるHDD需要が在庫調整局面にあること等から、数量は前年同期比で減少しました。高合金製品も、リードフレーム用素材の需要が低迷したこと等から、数量は前年同期比で減少しました。磁石製品は、EPS（電動パワーステアリング）向けが増加したこと等から、また、チタン製品に関しては、国内および海外で医療向けが堅調に推移したことから、売上高は前年同期比で増加しました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の機能材料・磁性材料の売上高は、前年同期比5.9%増加の408億83百万円、営業利益は前年同期比6億38百万円増益の27億85百万円となりました。

#### ③自動車部品・産業機械部品

自由鍛造品は、原油価格下落に伴い掘削・石油プラント関連の需要が弱含んでいること等から、売上高は前年同期比で減少しました。型鍛造品も、在庫調整の動きがあり売上高は前年同期比で減少しました。エンジンバルブ部品は、北米自動車販売の好調等を受け、受注が堅調に推移したことから、売上高は前年同期比で増加しました。鋳鋼品、精密鋳造品も、ターボ関連製品の需要拡大により、売上高は前年同期比で増加しました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の自動車部品・産業機械部品の売上高は、前年同期比0.7%減少の246億22百万円、営業利益については、前年同期比2億円増益の2億63百万円となりました。

#### ④エンジニアリング

海外向けの売上が好調であったこと等から、当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比14.1%増加の57億91百万円となりました。これに加え工事案件の内容良化等から、営業損益は前年同期比3億28百万円増益の2億92百万円となりました。

#### ⑤流通・サービス

商社部門の海外売上が前年同期比で減少したこと等から、当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比10.0%減少の21億2百万円、営業利益は前年同期比38百万円増益の3億9百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当社グループの当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前期末に比べ10億12百万円増加し5,896億2百万円となりました。総資産の主な増加の内訳と要因は次のとおりです。

・「投資有価証券」の増加54億70百万円…主としてその他有価証券の時価評価差額増加による増加。

また、当社グループの当第1四半期連結会計期間末の非支配株主持分を含めた純資産額は、前期末に比べ49億4百万円増加し2,973億10百万円となりました。純資産額の主な増加の内訳と要因は次のとおりです。

・「その他有価証券評価差額金」の増加37億円…主として保有株式の時価の上昇による増加。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は44.1%となり、前期末と比べ0.6ポイント上昇しております。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の日本経済は、緩やかな回復が期待されています。海外経済においても、新興国に若干の弱さが見られるものの堅調な米国を中心に全体としては緩やかな成長が期待されています。特殊鋼の需要につきましては、主要需要先である自動車で、上期の在庫調整局面を抜けて、下期に本格回復することが期待されています。産業機械も、設備投資の増加傾向が続いていることから、回復基調が継続すると期待されています。リスク要因としては、中国の成長率低下に伴う景気減退リスク、米国の利上げに伴う景気減退リスク、原油をはじめとする資源価格や為替の変動リスク、ロシアや中東地域での地政学的リスクなど、当社グループに影響を与えうる注視すべきものと認識しております。

このような経営環境の中、当社グループは、市場の変化・お客様の動向を常に注視し、その変化に即応してまいります。また、中期計画で目標とした海外売上高の拡大に向けての施策を、着実に実施してまいります。更なる品質の向上、継続的なコスト削減への取組み、デリバリー体制の強化も行い、経営基盤となるQCD競争力の強化にも努めてまいります。

当期の連結業績につきましては、当第1四半期連結累計期間でお客様の生産調整等に伴う数量の減少はありましたが、原材料価格の下落傾向もあり、前回（平成27年4月30日）公表した業績予想の修正は行っておりません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### (会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)および  
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」とい  
う。)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動によ  
る差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に  
変更いたしました。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処  
理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映  
させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更および少数株主持分から非支配株主持分への  
表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間および前連結会計年  
度については、四半期連結財務諸表および連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)およ  
び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首  
時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額ははありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	32,585	34,026
受取手形及び売掛金	101,918	96,459
電子記録債権	3,087	4,017
たな卸資産	108,561	108,375
その他	10,193	9,828
貸倒引当金	△166	△165
流動資産合計	256,181	252,542
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	64,234	64,340
機械装置及び運搬具(純額)	78,830	78,920
その他(純額)	46,310	46,492
有形固定資産合計	189,375	189,753
無形固定資産		
のれん	113	100
その他	7,169	7,205
無形固定資産合計	7,283	7,306
投資その他の資産		
投資有価証券	87,812	93,283
退職給付に係る資産	39,208	39,334
その他	8,866	7,519
貸倒引当金	△137	△137
投資その他の資産合計	135,749	140,000
固定資産合計	332,408	337,060
資産合計	588,590	589,602

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	72,855	68,548
電子記録債務	5,184	6,387
短期借入金	27,989	34,378
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
未払法人税等	3,883	758
賞与引当金	6,354	2,729
その他の引当金	780	504
その他	22,335	26,645
流動負債合計	159,382	159,953
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	77,081	71,129
その他の引当金	2,203	2,280
退職給付に係る負債	8,003	8,111
その他	29,512	30,818
固定負債合計	136,802	132,339
負債合計	296,184	292,292
純資産の部		
株主資本		
資本金	37,172	37,172
資本剰余金	28,542	28,542
利益剰余金	152,130	152,553
自己株式	△382	△385
株主資本合計	217,463	217,882
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25,128	28,829
繰延ヘッジ損益	0	△3
土地再評価差額金	1,758	1,758
為替換算調整勘定	3,235	3,224
退職給付に係る調整累計額	8,434	8,104
その他の包括利益累計額合計	38,558	41,913
非支配株主持分	36,383	37,514
純資産合計	292,405	297,310
負債純資産合計	588,590	589,602



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	119,819	116,705
売上原価	103,315	99,995
売上総利益	16,503	16,710
販売費及び一般管理費	12,326	12,742
営業利益	4,177	3,967
営業外収益		
受取利息	45	37
受取配当金	648	632
持分法による投資利益	217	168
為替差益	—	86
その他	343	328
営業外収益合計	1,255	1,253
営業外費用		
支払利息	385	342
環境対策引当金繰入額	—	285
為替差損	94	—
その他	380	352
営業外費用合計	860	980
経常利益	4,572	4,240
特別損失		
投資有価証券評価損	—	604
特別損失合計	—	604
税金等調整前四半期純利益	4,572	3,635
法人税、住民税及び事業税	575	564
法人税等調整額	858	652
法人税等合計	1,433	1,217
四半期純利益	3,139	2,418
非支配株主に帰属する四半期純利益	556	630
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,582	1,788

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益	3,139	2,418
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,001	3,777
繰延ヘッジ損益	2	△8
為替換算調整勘定	△307	△198
退職給付に係る調整額	△134	△323
持分法適用会社に対する持分相当額	13	27
その他の包括利益合計	1,575	3,275
四半期包括利益	4,714	5,694
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,160	5,000
非支配株主に係る四半期包括利益	554	693

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	特殊鋼鋼材	機能材料・ 磁性材料	自動車部品 ・産業機械 部品	エンジニア リング	流通・ サービス	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高								
外部顧客への 売上高	48,986	38,612	24,807	5,077	2,335	119,819	—	119,819
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	19,122	4,161	8,363	275	2,151	34,074	△34,074	—
計	68,108	42,773	33,171	5,352	4,487	153,893	△34,074	119,819
セグメント利益 又は損失(△)	455	3,424	62	△35	271	4,178	△0	4,177

(注)1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	特殊鋼鋼材	機能材料・ 磁性材料	自動車部品 ・産業機械 部品	エンジニア リング	流通・ サービス	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高								
外部顧客への 売上高	43,305	40,883	24,622	5,791	2,102	116,705	—	116,705
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	21,540	4,259	8,977	591	2,353	37,722	△37,722	—
計	64,846	45,143	33,599	6,382	4,455	154,427	△37,722	116,705
セグメント利益	317	2,785	263	292	309	3,969	△2	3,967

(注)1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 4. 補足説明資料

平成27年7月28日  
大同特殊鋼株式会社

## 平成28年3月期 第1四半期決算発表

## 連 結

## (1) 当第1四半期のセグメント別売上高

(単位：百万円、%)

	27年6月 第1四半期	(前年同期差)	
		増減額	増減率
特殊鋼鋼材	43,305	-5,680	-11.6
機能材料・磁性材料	40,883	2,271	5.9
自動車・産業機械部品	24,622	-185	-0.7
エンジニアリング	5,791	714	14.1
流通・サービス	2,102	-233	-10.0
計	116,705	-3,113	-2.6

## (2) 要約連結損益計算書(四半期累計期間)

(単位：百万円、%)

	27年6月 第1四半期	(前年同期差)	
		増減額	増減率
売上高	116,705	-3,113	-2.6
営業利益	3,967	-210	-5.0
営業外収益	1,253	-2	-
営業外費用	980	119	-
経常利益	4,240	-332	-7.3
特別利益	-	-	-
特別損失	604	604	-
税引前純利益	3,635	-936	-
法人税等	1,217	-216	-
非支配株主に帰属する 当期純利益	630	73	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,788	-794	-30.8

## (3) 当第1四半期の経常利益増減要因(前年同期対比)

(単位：億円)

(参考：原料市況)

増益要因	金額	減益要因	金額
1. 原燃料等市況	12	1. 販売数量減少	9
2. 内容構成差他	6	2. 販売価格下落	10
3. 変動費改善	3	3. 固定費の増加	4
		4. 営業外損益	1
計(a)	21	計(b)	24
		差引(a) - (b)	-3

	26年6月 第1四半期	27年6月 第1四半期
H2建値 (千円/t)	27.9	20.7
ニッケル(LME) (\$/lb)	8.4	5.9
モリブデン(MD) (\$/lb)	13.6	7.5

## (4) 要約連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前期 27年3月末	当第1四半期 27年6月末	増減	科目	前期 27年3月末	当第1四半期 27年6月末	増減
流動資産	256,181	252,542	-3,639	負債	296,184	292,292	-3,892
現金	32,585	34,026	1,441	営業債務	78,039	74,936	-3,102
営業債権	105,006	100,476	-4,529	有利子負債	146,208	146,616	407
たな卸資産	108,561	108,375	-185	その他	71,937	70,740	-1,197
その他	10,027	9,662	-364				
固定資産	332,408	337,060	4,652	純資産	292,405	297,310	4,904
有形固定資産	189,375	189,753	377	株主資本	217,463	217,882	419
無形固定資産	7,283	7,306	23	その他の包括利益 累計額	38,558	41,913	3,354
投資その他の資産	135,749	140,000	4,251	非支配株主持分	36,383	37,514	1,130
資産合計	588,590	589,602	1,012	負債純資産合計	588,590	589,602	1,012